



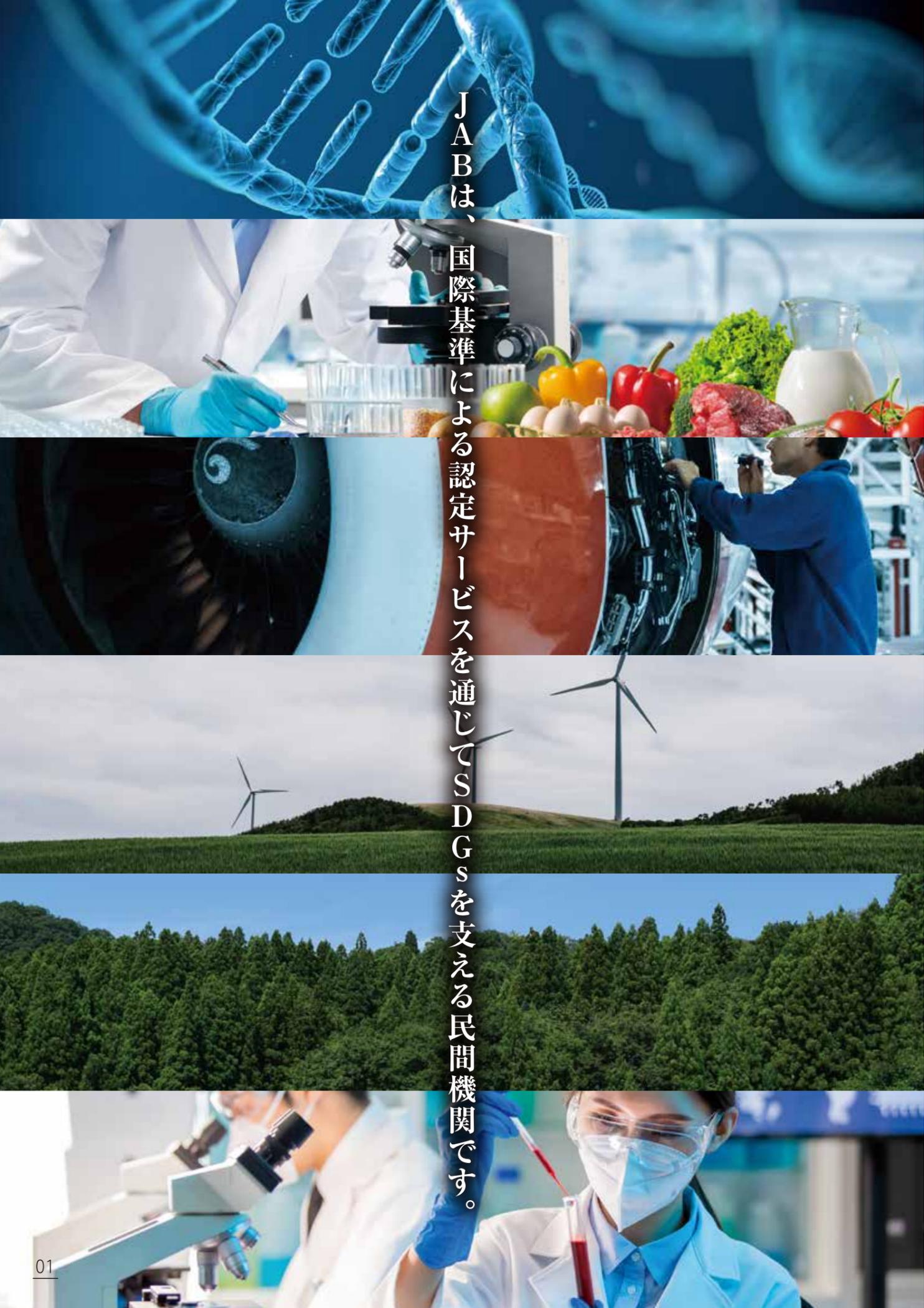
公益財団法人
日本適合性認定協会
Japan Accreditation Board

〒108-0014
東京都港区芝4丁目2-3
NMF芝ビル2階
www.jab.or.jp

JAPAN ACCREDITATION BOARD

JAB
UPDATES
2022





J A B は、国際基準による認定サービスを通じてSDGsを支える民間機関です。

私たちの ミッション

1

地球環境の保全と自然環境の保護、整備

2

公正かつ自由な経済活動の活性化による国民生活の安定向上

3

消費者の利益の擁護増進

4

クオリティインフラストラクチャーの一員として「SDGs」を支援

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

第三者適合性評価は、評価能力をもつ第三者が基準への適合を評価する社会制度。つまり、「優れたものを選んでおく・選定しておく」制度です。基準と評価行為が適切であれば、経済社会活動において「組織体」や「製品・サービス」を選ぶとき、その選択の質と効率の向上に素早く貢献し、評価プロセスを通じて、評価対象のレベルの向上を期待することも可能です。この制度は、安全・安心社会の実現、経済活性化・産業競争力強化、そしてSDGsなど望ましい価値観の浸透を促す巧みな社会制度といえます。この制度において、本協会が担う「認定」という社会的機能は、適合性評価における評価能力の維持・向上、さらには適合性評価制度そのものの有効活用の促進と価値向上を担うものであります。

適合性評価と認定

製品・サービス自体、またこれを供給する企業のマネジメントシステム等が、該当する仕様(技術的規則・要求事項)に適合しているか否かを評価するプロセスを適合性評価といい、評価の対象によって校正・試験、検査、認証などに分類されます。これらの適合性評価を実施する機関(適合性評価機関)が国際的に定められたルールに沿って業務を遂行しているかどうかを確認する業務を認定といいます。

認定機関の役割

適合性評価機関が行う校正・試験、検査、認証などの適合性評価に対し、利用者からは試験や審査を行う技術力、信頼性が求められます。このような市場からの要請に、適合性評価機関そのものを評価し、継続的にモニタリングする機能が「認定」であり、この業務を行う機関が「認定機関」です。

JABの認定スキーム

JABは**社会のニーズ**や

顧客の意識の変化を正確にとらえ、

新たな認定スキームの開発に

意欲的に取り組んでいます。

■ IAF MLA/ILAC MRA/APAC MRAの構造

レベル 1	全ての認定機関に適用される基準	レベル 4	レベル3の基準を適用するための分野特有の基準
レベル 2	認定活動の種類	レベル 5	適合性評価に用いられる基準・規格
レベル 3	認定基準		

*2022年1月現在、JABが相互承認協定を締結する範囲に限る

■ 相互承認範囲の拡大

JIS Q 13485	2021年 3月23日	APAC MRA 拡大承認
JIS Q 45001	2021年 4月19日	IAF MLA 拡大承認
ICAO CORSIA検証		
GLOBAL G.A.P.	2021年11月27日	APAC MRA 拡大承認
	2022年 1月11日	IAF MLA 拡大承認

■ 新規認定サービス開始予定

SJAC 9120(AS/EN9120)	2022年度	申請受付開始予定
----------------------	--------	-----------------

JABが提供する認定スキーム

認定機関が適合すべき基準	認定スキーム/サブスキーム	認定基準 適合性評価機関が適合すべき基準	適合性評価基準 適合性評価の対象が適合すべき規格
マネジメントシステム認証機関			
	マネジメントシステム認証機関	JIS Q 17021-1 (ISO/IEC 17021-1)	—
	品質マネジメントシステム(QMS)	+ JIS Q 17021-3 (ISO/IEC 17021-3)	JIS Q 9001 (ISO 9001)
	▶航空宇宙品質マネジメントシステム (AS-QMS)	+ SJAC規格	JIS Q 9100 (AS/EN 9100) SJAC 9120 (AS/EN 9120)
	▶情報通信品質マネジメントシステム (TL-QMS)	+ TL9000要求事項	TL9000
	▶医療機器品質マネジメントシステム (MD-QMS)	+ —	JIS Q 13485 (ISO 13485)
	環境マネジメントシステム (EMS)	+ JIS Q 17021-2 (ISO/IEC 17021-2)	JIS Q 14001 (ISO 14001)
	エネルギーマネジメントシステム (EnMS)	+ JIS Q 50003 (ISO 50003)	JIS Q 50001 (ISO 50001)
	情報セキュリティマネジメントシステム (ISMS)	+ JIS Q 27006 (ISO/IEC 27006)	JIS Q 27001 (ISO/IEC 27001)
	ITサービスマネジメントシステム (ITSMS)	+ ISO/IEC 20000-6	JIS Q 20000-1 (ISO/IEC 20000-1)
	JIS Q 45001 労働安全衛生マネジメントシステム (OHSMS)	+ JIS Q 17021-10 (ISO/IEC TS 17021-10)	JIS Q 45001 (ISO 45001)
	▶JIS Q 45100 労働安全衛生マネジメントシステム (J-OHSMS)	+ JIS Q 17021-100	JIS Q 45100
	食品安全マネジメントシステム (FSMS)	+ ISO/TS 22003	ISO 22000
	▶食品安全システム認証 22000 (FSSC 22000)	+ FSSC 22000要求事項	FSSC 22000
	▶食品安全マネジメントシステム JFS-C認証 (JFS-C)	+ JFS-C認証スキーム文書	JFS-C規格
	道路交通安全マネジメントシステム (RTSMS)	+ ISO/IEC TS 17021-7	ISO 39001
	▶N-RTSマネジメントシステム (N-RTSMS)	+ ISO/IEC TS 17021-7+N-RTSMS要求事項	ISO 39001+N-RTSMS要求事項
	アセットマネジメントシステム (AMS)	+ ISO/IEC TS 17021-5	JIS Q 55001 (ISO 55001)
	イベントサステナビリティマネジメントシステム (ESMS)	+ ISO/IEC TS 17021-4	ISO 20121
要員認証機関			
	要員認証	JIS Q 17024 (ISO/IEC 17024)	—
製品認証機関			
	製品認証	JIS Q 17065 (ISO/IEC 17065)	—
	消防設備	+ —	消防庁告示、内発協規格
	抗菌防臭加工繊維製品	+ —	JEC 301, JIS L 1902
	電気工作物の溶接	+ 火原協スキーム要求事項	TNS-S3101
	マーケットリサーチに関わるサービス	+ JMRAスキーム要求事項	JIS Y 20252 (ISO 20252)
	風力発電システム	+ IEC 61400-22	JIS C 1400シリーズ (IEC 61400シリーズ)
	セキュア	+ ISASecureスキーム要求事項	EDSA-310,311,312
	森林	+ SGEC/PEFCジャパン スキーム要求事項	SGEC FM認証基準、SGEC/PEFC CoC認証基準
	GAP	+ JGAP/ASIAGAP/GLOBALG.A.P.スキーム要求事項	JGAP/ASIAGAP/GLOBALG.A.P. CPCC
	漁業	+ MELスキーム要求事項	MEL漁業認証基準、養殖業認証基準、CoC認証基準

JABが提供する認定スキーム

認定機関が適合すべき基準	認定スキーム/サブスキーム	認定基準 適合性評価機関が適合すべき基準	適合性評価基準 適合性評価の対象が適合すべき規格
温室効果ガス妥当性確認・検証機関			
	温室効果ガス妥当性確認・検証	JIS Q 14065 (ISO 14065)	—
		JIS Q 14064-3 (ISO 14064-3)	—
		JIS Q 14066 (ISO 14066)	—
	ISO 14064-1 組織検証	+ —	JIS Q 14064-1 (ISO 14064-1)
	ISO 14064-2 プロジェクト妥当性確認	+ —	JIS Q 14064-2 (ISO 14064-2)
	ISO 14064-2 プロジェクト検証	+ —	JIS Q 14064-2 (ISO 14064-2)
	ICAO CORSIA 検証	+ ICAO CORSIA基準	ICAO CORSIA基準
試験所			
	試験	JIS Q 17025 (ISO/IEC 17025)	試験規格
	電気試験、機械・物理試験、化学試験、食品・医薬品試験、建築建材試験、消防法関連試験、船舶試験、産業安全機械	+ —	—
	器具試験、生物科学試験、放射線モニタリング	—	—
	エネルギースター試験所	+ EPA要求事項	—
臨床検査室			
	試験 臨床検査	ISO 15189	臨床検査法
校正機関			
	校正	JIS Q 17025 (ISO/IEC 17025)	校正手順
	校正機関	+ —	—
	基準測定検査室	+ ISO 15195	—
検査機関			
	検査	JIS Q 17020 (ISO/IEC 17020)	検査法
標準物質生産者			
	標準物質生産	JIS Q 17034 (ISO 17034)	標準物質生産方法 (製品規格、試験規格含む)
技能試験提供者			
	技能試験	JIS Q 17043 (ISO/IEC 17043)	技能試験提供方法 (試験規格含む)

国際相互承認

JABは適合性評価機関の認定と同時に
《海外の認定機関との相互承認を推進する》という重要な役割を担っています。

相互承認の目的

認定機関間の相互承認協定 (MRA <Mutual Recognition Arrangement> /MLA <Multilateral Recognition Arrangement>)は、それぞれの認定先の適合性評価機関が同じ国際基準に基づき運営されていることを保証しています。相互承認グループメンバーの認定機関から認定された適合性評価機関が発行する認証文書等の価値を一定レベル以上に確保することにより、それを活用する購入者の信頼を得ることを目的としています。

相互承認のメリット

相互承認グループメンバーの認定機関から認定された適合性評価機関が発行する認証文書等は、同等に信頼できるものとなります。万一、認証文書の受入れに問題が発生した場合でも、相互承認グループメンバーの認定機関が当該購入者への連絡ルートを確認し、解決に向けて働きかけることができます。更に、相互承認グループのネットワークを活用し、適合性評価の質に関して情報を収集し、継続的に改善を行うことが可能です。

JABの相互承認協定

JABは、次の3つの国際組織と相互承認協定に関するMoU (Memorandum of Understanding) を締結しています。(相互承認協定の範囲はP.3,4の表参照)

- ① IAF (国際認定フォーラム)**
マネジメントシステム/製品/要員認証機関、妥当性確認・検査機関の認定機関を中心に構成。

IAF MLAは、世界 **88** の経済地域から、
74 の認定機関が、相互承認協定を締結中。(2021年10月時点)


- ② ILAC (国際試験所認定協力機構)**
試験所、校正機関、臨床検査室、検査機関、標準物質生産者及び技能試験提供者の認定機関を中心に構成。

ILAC MRAは、世界 **105** の経済地域から、
104 の認定機関が、相互承認協定を締結中。(2021年10月時点)


- ③ APAC (アジア太平洋認定協力機構)**
IAF及びILACの地域グループの1つであり、アジア・太平洋地域の認定機関を中心に構成。APACは2019年1月1日よりAPLACとPACが統合する形で発足した。

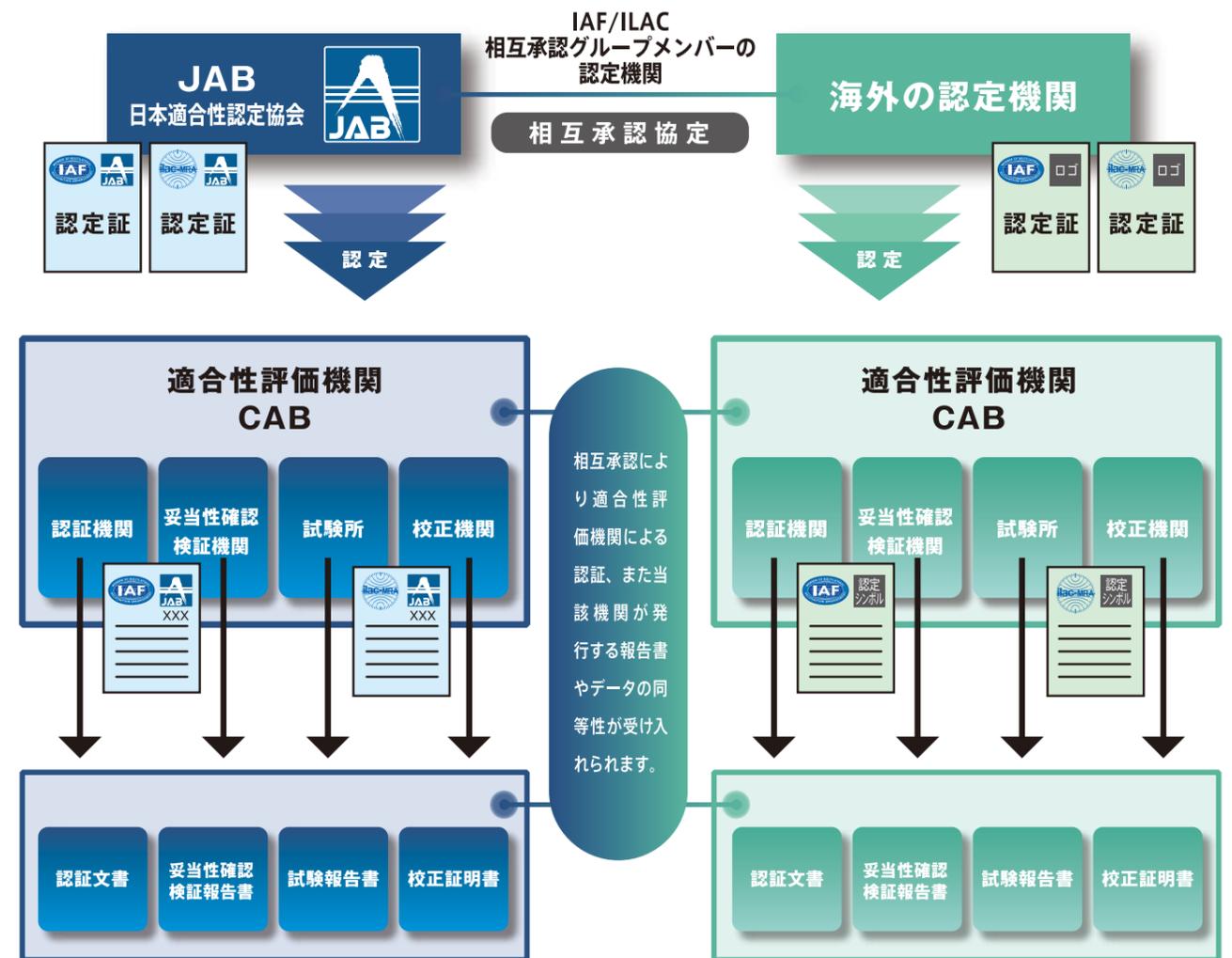
APAC MRAは、世界 **30** の経済地域から、
50 の認定機関が、相互承認協定を締結中。(2021年11月時点)





相互承認グループメンバーの認定機関は、4年に1回相互評価(Peer Evaluation)を受け、継続的な国際規格・基準への適合を確認されます。

※SADCAはIAF/ILACの地域グループのひとつであるが、IAF MLA/ILAC MRA未承認。(2020年3月現在)



協会概要とガバナンス

JABの認定活動を監視する機関・機能

認定機関として適切な活動ができていることを、
次のような方法で外部機関が監視しています。

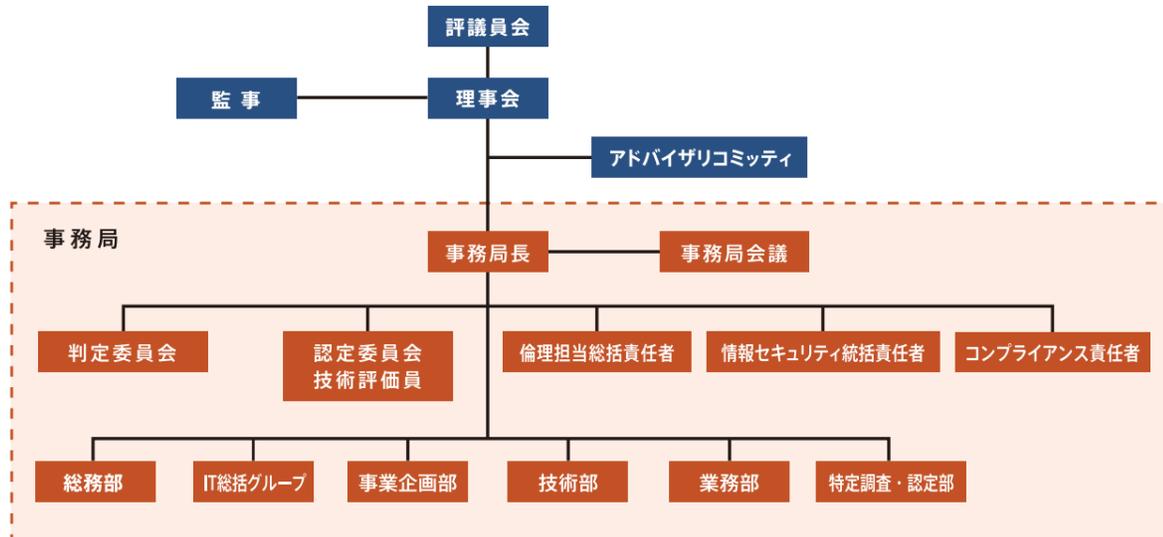
[外部機関によるオーバーサイト]

- a) 国際認定フォーラム (IAF)、国際試験所認定協力機構 (ILAC) による相互承認審査
- b) スキームオーナーによるオーバーサイト

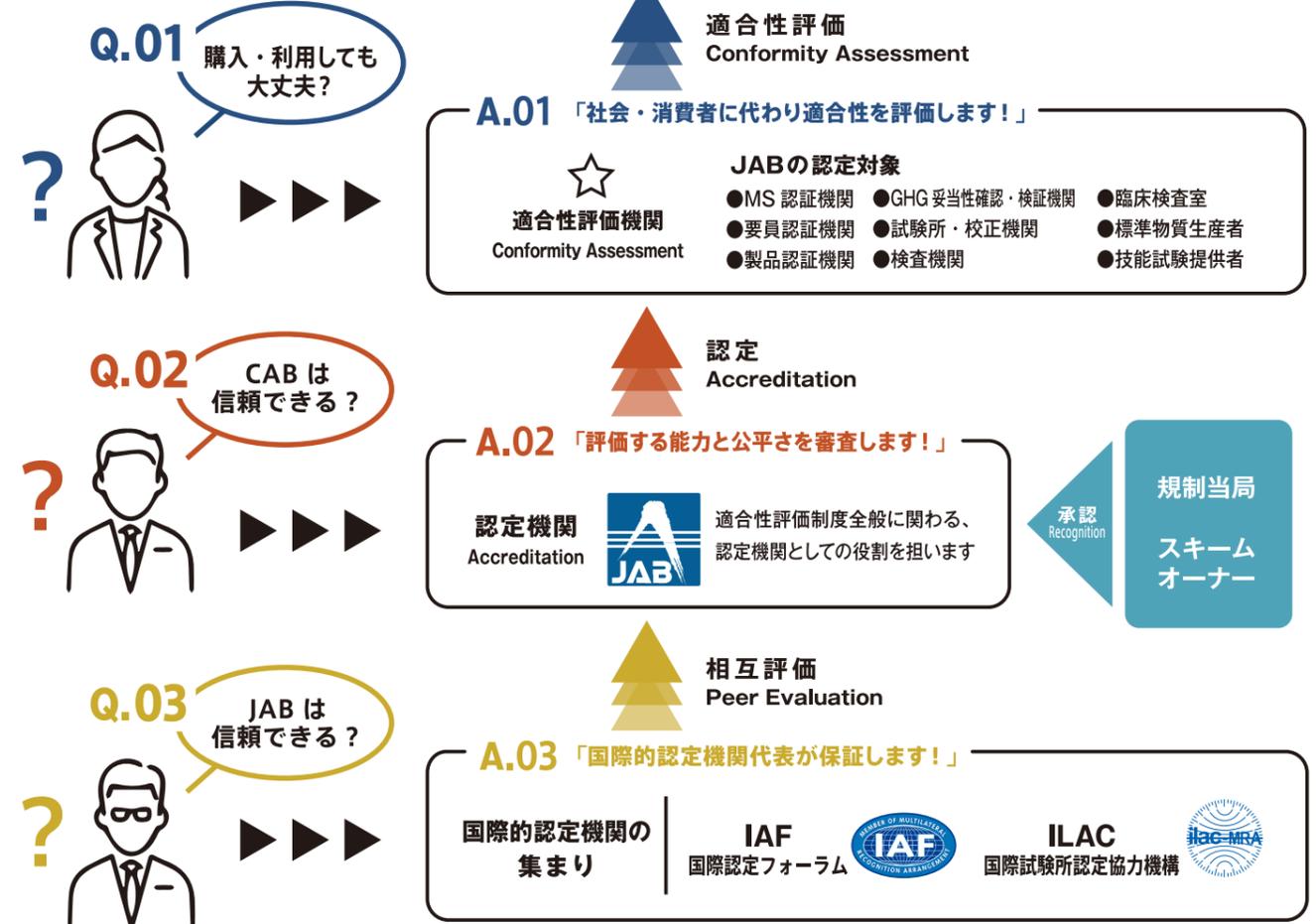
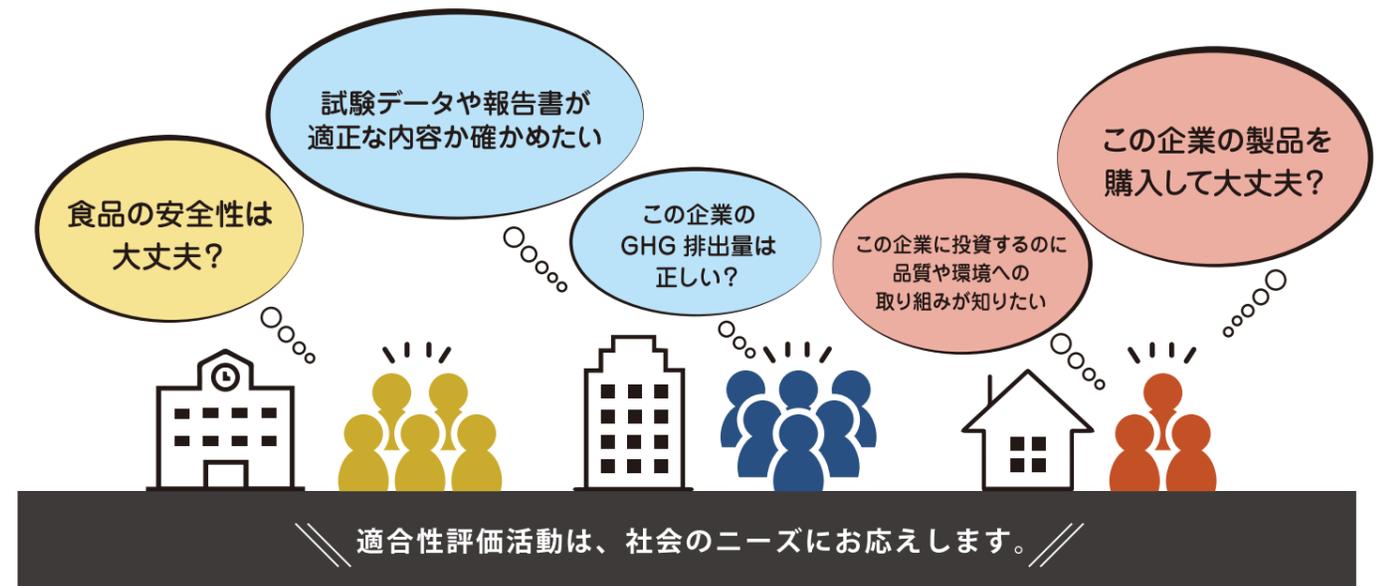
[外部委員会による監視]

- a) 評議員会 b) 非常勤 (外部) 理事 c) アドバイザリコミッティ

組織図



[名称] 公益財団法人 日本適合性認定協会 (英文名称 Japan Accreditation Board (JAB))
 [設立] 1993年11月1日 公益法人移行日2010年7月1日 (登記日)
 [設立経緯] 日本工業標準調査会 (現、日本産業標準調査会、JISC) から民間主導の認定機関の設立が必要との答申に基づき、1993年に社団法人経済団体連合会 (現、一般社団法人日本経済団体連合会) 主導の下、35の産業団体の基本財産の出捐を受け、日本初の認定機関として設立。
 [主管官庁] 内閣府 (2010年6月以前 経済産業省・国土交通省(民法第34条))



JAB の認定実績

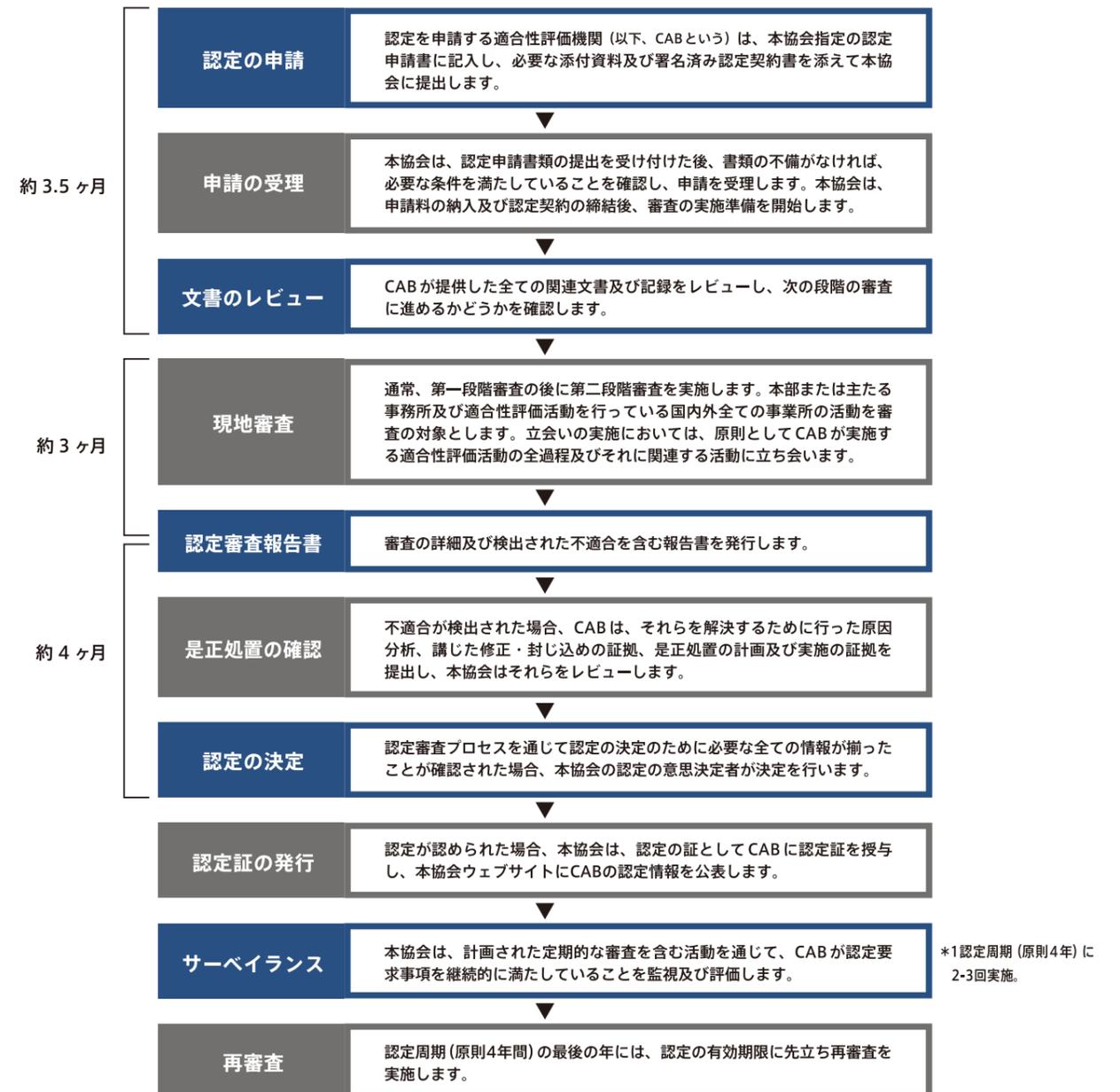
※2022年1月末現在

認定事業名称	認定数
マネジメントシステム 認証機関	37
品質マネジメントシステム	36
航空宇宙品質マネジメントシステム	5
情報通信品質マネジメントシステム	1
医療機器品質マネジメントシステム	4
環境マネジメントシステム	35
エネルギーマネジメントシステム	1
情報セキュリティマネジメントシステム	1
労働安全衛生マネジメントシステム(OHSMS)	5
労働安全衛生マネジメントシステム(J-OHSMS)	1
食品安全マネジメントシステム	11
食品安全システム認証22000	10
JFS-C認証	5
アセットマネジメントシステム	3
要員認証機関	2
製品認証機関	19
消防設備	2
抗菌防臭加工繊維製品	1
電気工作物の溶接部	2
マーケットリサーチに関わるサービス	1
風力発電システム	2
セキュア制御製品	1
森林認証	4
GAP	6
漁業及び水産物	1

認定事業名称	認定数
温室効果ガス妥当性 確認・検証機関	7
ISO 14064-1 組織検証	7
ISO 14064-2 プロジェクト妥当性確認	4
ISO 14064-2 プロジェクト検証	4
ICAO CORSIA検証	1
試験所 (複合分野があるため合計数は一致せず)	302
分野 電気	66
機械・物理	74
化学	109
食品・医薬品	85
放射線モニタリング	3
生物科学	17
その他の試験	6
校正	29
臨床検査室	254
検査機関	13
標準物質生産者	4
技能試験提供者	8

JAB 認定の流れ

JABの一般的な審査の流れは次のとおりです。目安として、認定の申請から認定取得までの期間は平均10ヶ月程度です。認定取得までの期間は、認定範囲の広さ、審査日の日程調整、審査時に見つかった不適合の内容などによって変わります。



ご質問やご相談は、下記QRコード『JABお問い合わせフォーム』よりお問い合わせください。

公益財団法人
日本適合性認定協会
Japan Accreditation Board
〒108-0014
東京都港区芝4丁目2-3 NMF芝ビル2階



JAB お問い合わせフォーム

